

おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより 第7号

令和7年11月13日(木)

校長 福沢 俊之

TEL 03 (3831) 3787

学校ホームページ



<https://www.taito.ed.jp/1320111>

↑更新中

「探究的な学び」

校長 福沢 俊之

10月23日(木)、24日(金)、香川県で行われた全日本中学校長会研究協議会に参加してきました。この協議会は、年1回、各都道府県で行われ、全国からおよそ2000人の校長が集まることもあって、文部科学省からの教育行政に関わる説明もあります。今回は、次期学習指導要領に向けた検討の進捗状況について説明がありました。学習指導要領とは、「全国どこの学校でも一定の水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程(カリキュラム)の基準」で、「およそ10年に1度、改訂」しており、「教科書や時間割は、これを基に作られています。」(文部科学省ホームページ)。現在の中学校学習指導要領は、平成29年に改訂され今年度で8年になるので、すでに次期学習指導要領の検討が始まっています。先日、その方向性や今後議論していくポイントを示した「論点整理」が公表されました。文部科学省からの説明は、「論点整理」の一部でしたが日々の授業に関わる大切なポイントの解説がありました。その1つが「探究的な学び」です。その学習過程は、①課題の設定、②情報の収集、③整理・分析、④まとめ・表現、となることが重要であると示されています。本校では日頃から社会とのかかわりを意識して指導・支援にあたり、実際に地域に出てさまざまな体験活動を行っています。探究的な学びも、自ら課題を設定し解決に向けて取り組むことを通して、社会に出て活用できる力を身につけることを目指しています。探究的な学びの充実や質的な向上は、総合的な学習の時間とともに、多くの時間を充てて、且つ教員の専門性を発揮できる教科の授業の充実に因るものと考えます。

私は管理職になる前、数学科の教員として授業を担当していました。現在も東京都中学校数学教育研究会で若い先生方と授業研究に関わっています。最近では、ある中学校2年生の数学の授業での課題「体育祭はいつ実施するのがベストか、校長先生に提案しよう。」に取り組んだ際の生徒のワークシートやその後のインタビューについて分析をしています。この課題は「データの活用」という領域にあたる内容で、気象庁のホームページから前年の1日ごとの最高気温のデータを集め、月ごとに箱ひげ図に表して考えるところから始めます。その先は各自が自由にいろいろなデータを集め、自分の考えを伝えるための根拠を探っていきます。平均気温や最低気温、降水量、湿度のデータを集めて、箱ひげ図だけでなくヒストグラムや度数分布表にする生徒がいました。整理をしてみるとその仕方によって気付くことも違ってきます。また、数値で表せない天候を晴れ2点、曇り1点、雨0点として数値化した生徒もいました。最後は「〇月がいい」、さらに上旬、中旬、下旬など、自分なりの結論を出しますが、その理由もさまざまです。評価の規準は、何が正解か、ということではありません。いろいろなデータを用いて、いろいろな表現をして、いかに「なるほど」と思わせることができるか、ということです。過去にさかのぼって調べると温暖化の傾向に気付き、その変化から今後の気温を推定する生徒もいました。この課題は数学の授業で扱いましたが、理科で学習する気象の知識があるとさらに深まりそうです。

学校教育で行う学習の目指すところは、「自ら学ぶ」ことです。これは大人になり社会に出ても求められること、さらに、生涯にわたって続けていくことであると思っています。そのきっかけは、与えられた学習課題であっても、取り組んでいるうちに興味が湧いたり、面白そうに感じたり、なぜ?、不思議?と思ったり、いろいろな芽が出ることもあります。それを見逃したり摘んでしまったりせず大切に育ててほしいと思います。明日から期末テストが始まります。私は、中学校で学習する9教科はこれから生きていく上で基盤になる学習内容が網羅されていると思っています。できなかったこと、わからなかったことから次の学びにつながる芽を見つけてください。

令和7年度 文化祭（舞台部門発表会）

●合唱コンクール（ゴールド金賞クラス紹介）



1年2組「Let's search for Tomorrow」



2年1組「COSMOS」

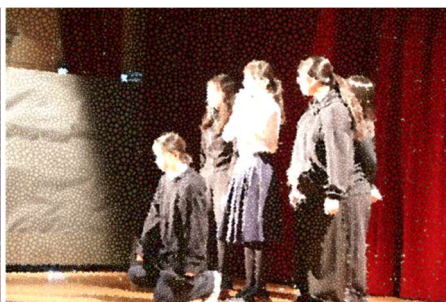


3年1組「春に」

音楽科 矢野 小百合 先生 から一言

「歌への想いや意図を、会場で聴いてくださる全ての方へ伝える合唱をしよう」という思いから、合唱コンクールへの第一歩が始まりました。どのクラスも選曲から熱心に取り組みました。練習では、3年生は初めての混声4部合唱とクラスで選んだ自由曲に取り組み、難しい課題にも仲間と協力し合って粘り強く曲を仕上げていく姿が印象的でした。2年生、1年生はクラスの個性あふれる曲目と歌声で、パートリーダーや実行委員と一緒に熱心に取り組みました。当日は全てのクラスが全力で歌い、競い合い、讃え合う姿がみられました。「一生懸命に伝える“素晴らしさと感動”をこれからも大切にしてほしいと思います。」

●演劇部発表



演劇部顧問 橋本 佳世 先生 から一言

今年度は、8月末の江戸まちたいとう芸楽祭と文化祭で、異なる演目を発表することにしました。2つの台本を読み合わせ、配役を決めて稽古を進めていくことは簡単ではありませんでしたが、昨年以上の舞台を創りたいという生徒たちの気持ちがあったからこそできたことだと思います。文化祭での「ごめんね!ごめんね!」は、観客のみなさんも自分自身の生活に当てはめながら観ていただくことができたのではないのでしょうか。舞台を通して何かを感じ取り、考えていただくきっかけになったらうれしいです。

●吹奏楽部発表



吹奏楽部顧問 築田 弘子 先生 から一言

東京都中学生吹奏楽コンクールB組において、5年連続金賞をいただきました。皆様のご支援、応援のおかげです。本当にありがとうございました。「マゼランの未知なる大陸への挑戦」は、吹奏楽好きであれば誰もが知る名曲で、この曲で金賞を目指すのは我々にとって「挑戦」の一曲でした。部員 44 名が一体となった演奏をお楽しみいただけたでしょうか。ポップスも、部員主体で皆様に楽しんでいただける演出を工夫しました。ご協力いただいたOKT48の皆さん、本当にありがとうございました。